

## (2) 今期の景況と来期の見通し

### 製 造 業

#### 業況・売上額・受注残・収益

製造業の主要指標をみると、業況は $\Delta 14.3$ で前期比7.0ポイント増と大きく厳しさが和らいだ。売上額は $\Delta 1.0$ で6.8ポイント増、収益は $\Delta 16.0$ で8.0ポイント増とともに大幅に減少・減益幅が縮小し、受注残は0.6で7.6ポイント増と増加に転じた。来期の見通しについては、業況は低調感がかなり強まり、売上額はやや減少を強め、受注残は増加幅がわずかに拡大し、収益は多少改善する見込み。

業種別でみると、業況は「金属製品・建設用金属製品」は好転し、「一般機械器具・金型」はやや厳しさが和らぎ、「電気機械器具」は前期並の厳しさが続いた。売上額は、「電気機械器具」「金属製品・建設用金属製品」はともに増加に転じ、「一般機械器具・金型」はわずかに減少幅が拡大した。受注残は、「電気機械器具」「金属製品・建設用金属製品」はともに増加に転じ、「一般機械器具・金型」はかなり改善した。収益は、「電気機械器具」は極端に減少幅が縮小し、「金属製品・建設用金属製品」「一般機械器具・金型」はかなり改善した。

#### 価格・在庫動向

価格動向については、販売価格は20.4で12.9ポイント増と大きく上昇傾向が強まり、原材料価格は53.1で0.6ポイント減と前期並の上昇が続き、在庫は $\Delta 3.4$ で2.1ポイント増と幾分不足感が改善した。来期の見通しについては、販売価格、原材料価格はともに今期同様の上昇で推移し、在庫は今期同様の不足感が続く見通し。

業種別でみると、販売価格は、「電気機械器具」は極端に上昇が強まり、「一般機械器具・金型」はかなり上昇幅が拡大し、「金属製品・建設用金属製品」は好転した。原材料価格は、「金属製品・建設用金属製品」は非常に上昇が強まり、「一般機械器具・金型」は前期並の上昇が続き、「電気機械器具」は大幅に上昇傾向が弱まった。在庫は、「電気機械器具」は適正水準となり、「一般機械器具・金型」は若干不足感が改善し、「金属製品・建設用金属製品」は過剰に転じた。

#### 資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰りは $\Delta 20.2$ で1.8ポイント減とやや窮屈感が強まった。借入難易度は $\Delta 3.9$ で3.9ポイント減とわずかに厳しさが強まった。借入をした企業は15.9%で3.6ポイント増加した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は6.3%で1.4ポイント減少した。来期の見通しについて、資金繰りは窮屈感が多少緩和し、借入をする企業は大きく減少し、設備投資を実施する企業はわずかに増加する見込み。

業種別でみると、資金繰りは、「一般機械器具・金型」は幾分窮屈感が緩和し、「金属製品・建設用金属製品」「電気機械器具」はともに大幅に厳しさが増した。借入難易度は、「一般機械器具・金型」は増減なく前期並の容易な状況となり、「金属製品・建設用金属製品」「電気機械器具」はともにかなり後退した。今期借入をした企業は、「金属製品・建設用金属製品」「一般機械器具・金型」はともに若干減少し、「電気機械器具」は大きく減少した。設備投資を実施した企業は、「電気機械器具」はかなり増加し、「金属製品・建設用金属製品」は前期並となり、「一般機械器具・金型」は大幅に減少した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、1位は「原材料高」で44.4%となった。次いで2位は「売上の停滞・減少」で41.3%、3位は「仕入先からの値上げ要請」で17.5%となった。以下、4位は「同業者間の競争の激化」で15.9%、5位は「利幅の縮小」で14.3%となった。

重点経営施策では、1位は「販路を広げる」で52.4%となった。次いで2位は「経費を節減する」で49.2%、3位は「人材を確保する」「新製品・技術を開発する」「情報力を強化する」でいずれも11.1%となった。以下、4位は「不採算部門を整理・縮小する」で6.3%、5位は「不動産の有効活用を図る」で4.8%となった。

## 業種別動向

### (1) 金属製品、建設用金属製品

業況は14.0で前期比40.5ポイント増と好転した。受注残は29.7で48.8ポイント増、売上額は12.2で16.9ポイント増とともに増加に転じ、収益は△4.9で12.8ポイント増とかなり改善した。今期の「金属製品、建設用金属製品」は、業況、売上額、収益、受注残はいずれも改善した。価格動向については、販売価格は18.2で20.3ポイント増と好転し、原材料価格は67.3で32.6ポイント増と非常に上昇が強まった。在庫は3.2で13.4ポイント増と過剰に転じた。資金繰りは△23.5で8.2ポイント減と大幅に厳しさが増し、借入難易度は0.0で14.3ポイント減とかなり後退した。借入をした企業は22.2%と2.8ポイント減少し、設備投資動向については、設備投資を実施した企業は11.1%と1.4ポイント減少した。

来期の見通しについては、業況は悪化に転じる見込み。売上額は今期同様の増加が続き、受注残は増加幅がやや拡大し、収益は減益幅がわずかに拡大する見通し。価格動向については、販売価格は上昇傾向が多少強まり、原材料価格は上昇傾向が大きく弱まるとみられる。在庫は今期同様で推移し、資金繰りは窮屈感が幾分緩和し、設備投資をする企業は大幅に増加する見込み。

経営上の問題点については、1位は「原材料高」で55.6%、2位は「工場・機械の狭小・老朽化」で44.4%、3位は「同業者間の競争の激化」「利幅の縮小」でともに22.2%となった。重点経営施策については、1位は「販路を広げる」で44.4%、2位は「経費を節減する」「人材を確保する」でともに33.3%、3位は「不採算部門を整理・縮小する」で22.2%となった。

### (2) 一般機械器具、金型

業況は△8.7で前期比2.5ポイント増とやや厳しさが和らいだ。収益は△12.4で16.6ポイント増、受注残は△6.0で12.2ポイント増ととかなり改善し、売上額は△11.7で3.3ポイント減とわずかに減少幅が拡大した。今期の「一般機械器具、金型」は、業況、収益、受注残はいずれも改善し、売上額は悪化した。価格動向については、販売価格は27.4で19.0ポイント増とかなり上昇幅が拡大し、原材料価格は37.8で0.4ポイント減と前期並の上昇が続いた。在庫は△7.0で3.6ポイント増と若干不足感が改善した。資金繰りは△15.8で4.2ポイント増と幾分窮屈感が緩和し、借入難易度は14.3で増減なく前期並の容易な状況となった。借入をした企業は9.1%で2.0ポイント減少し、設備投資動向については、設備投資を実施した企業は0.0%で11.1ポイント減少した。

来期の見通しについては、業況は低調感が大きく強まる見込み。収益は減益幅が若干縮小し、受注残は減少幅がやや拡大し、売上額は大幅に低迷する見通し。原材料価格は上昇がわずかに弱まり、販売価格は上昇幅がかなり縮小するとみられる。在庫は不足感が大きく強まり、資金繰りは前期同様の苦しさで推移し、設備投資をする企業は今期同様変わらない見込み。

経営上の問題点については、1位は「売上の停滞・減少」で54.5%、2位は「原材料高」「仕入先からの

値上げ要請」でともに 45.5%、3位は「同業者間の競争の激化」で 27.3%となった。重点経営施策については、1 位が「販路を広げる」で 54.5%、2 位は「経費を節減する」で 45.5%、3 位は「新製品・技術を開発する」で 27.3%となった。

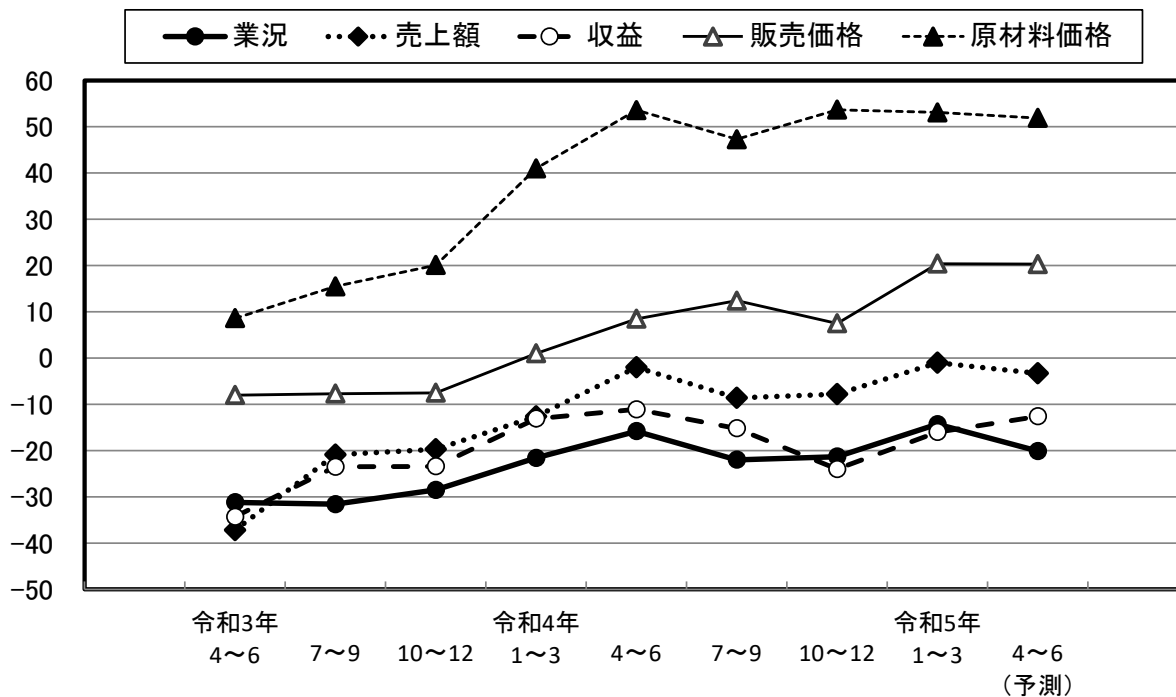
### (3)電気機械器具

業況は△28.0 で前期比 0.1 ポイント増と前期並の厳しさが続いた。売上額は 18.1 で 21.5 ポイント増、受注残は 13.3 で 14.4 ポイント増とともに増加に転じ、収益は△18.0 で 27.7 ポイント増と極端に減益幅が縮小した。今期の「電気機械器具」は、売上額、受注残、収益はいずれも改善し、業況は前期同様で推移した。価格動向については、販売価格は 43.5 で 26.7 ポイント増と極端に上昇が強まり、原材料価格は 79.9 で 5.5 ポイント減と大幅に上昇傾向が弱まった。在庫は 0.9 で 7.7 ポイント減と適正水準となった。資金繰りは△30.9 で 7.6 ポイント減と大幅に厳しさが増し、借入難易度は 11.1 で 8.9 ポイント減とかなり後退した。借入をした企業は 10.0%で 10.0 ポイント減少し、設備投資動向については、設備投資を実施した企業は 10.0%で 10.0 ポイント増加した。

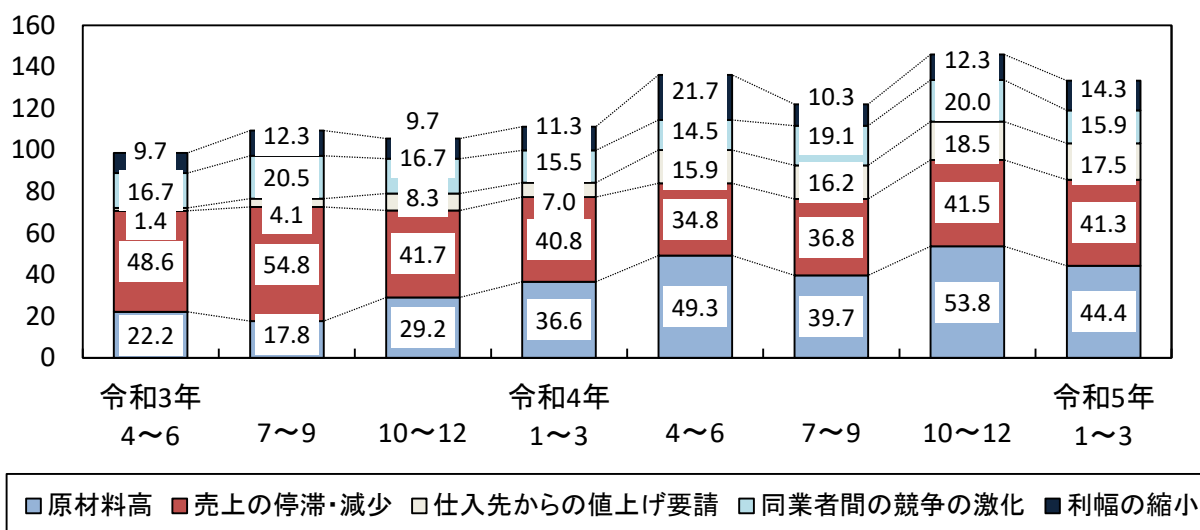
来期の見通しについては、業況は今期同様の厳しさが続く見込み。売上額、受注残はともに増加幅が大きく縮小し、収益は減益幅がやや拡大する見通し。販売価格、原材料価格はともに今期同様の上昇が続くとみられる。在庫は今期同様の適正水準が続き、資金繰りは今期同様の苦しさが続き、設備投資を実施する企業は今期同様変わらない見込み。

経営上の問題点については、1 位は「利幅の縮小」「原材料高」でともに 40.0%、2 位は「売上の停滞・減少」で 30.0%、3 位は「大手企業との競争の激化」「仕入先からの値上げ要請」でともに 20.0%となった。重点経営施策については、1 位は「経費を節減する」で 80.0%、2 位は「販路を広げる」で 40.0%、3 位は「人材を確保する」で 10.0%となった。

業況と売上額、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予測

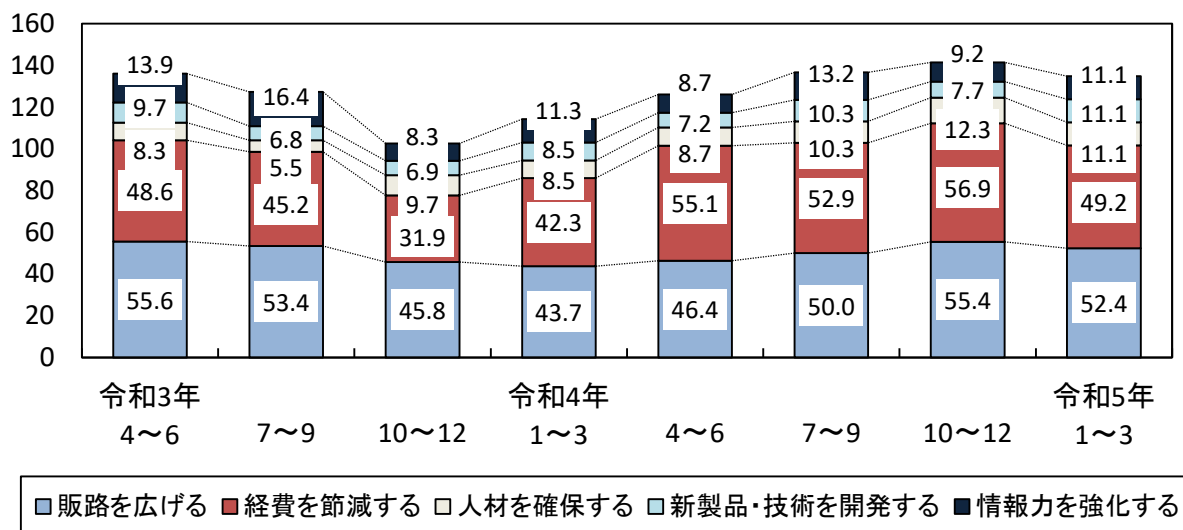


## 製造業 経営上の問題点（％）



	令和4年4月～6月期	令和4年7月～9月期	令和4年10月～12月期	令和5年1月～3月期
第1位	原材料高 49.3 %	原材料高 39.7 %	原材料高 53.8 %	原材料高 44.4 %
第2位	売上の停滞・減少 34.8 %	売上の停滞・減少 36.8 %	売上の停滞・減少 41.5 %	売上の停滞・減少 41.3 %
第3位	利幅の縮小 21.7 %	同業者間の競争の激化 19.1 %	同業者間の競争の激化 20.0 %	仕入先からの値上げ要請 17.5 %
第4位	仕入先からの値上げ要請 15.9 %	仕入先からの値上げ要請 16.2 %	仕入先からの値上げ要請 18.5 %	同業者間の競争の激化 15.9 %
第5位	同業者間の競争の激化 14.5 %	利幅の縮小 10.3 %	利幅の縮小 12.3 %	利幅の縮小 14.3 %

## 製造業 重点経営施策（％）



	令和4年4月～6月期	令和4年7月～9月期	令和4年10月～12月期	令和5年1月～3月期
第1位	経費を節減する 55.1 %	経費を節減する 52.9 %	経費を節減する 56.9 %	販路を広げる 52.4 %
第2位	販路を広げる 46.4 %	販路を広げる 50.0 %	販路を広げる 55.4 %	経費を節減する 49.2 %
第3位	人材を確保する 8.7 %	情報力を強化する 13.2 %	人材を確保する 12.3 %	人材を確保する 11.1 %
	情報力を強化する 8.7 %			新製品・技術を開発する 11.1 %
				情報力を強化する 11.1 %
第4位	新製品・技術を開発する 7.2 %	人材を確保する 10.3 %	情報力を強化する 9.2 %	不採算部門を整理・縮小する 6.3 %
		新製品・技術を開発する 10.3 %		
第5位	教育訓練を強化する 5.8 %	教育訓練を強化する 4.4 %	新製品・技術を開発する 7.7 %	不動産の有効活用を図る 4.8 %

# 卸 売 業

## 業況・売上額・収益

卸売業の主要指標をみると、業況は $\Delta 47.9$ で前期比 5.1 ポイント減と若干低調感が強まった。売上額は $\Delta 42.7$ で 19.7 ポイント減と極端に減少幅が拡大し、収益は $\Delta 32.3$ で 12.6 ポイント増と大きく持ち直した。来期の見通しについては、厳しさが極端に和らぎ、売上額、収益はともに減少・減益幅が特に大きく縮小する見込み。

## 価格・在庫動向

価格動向については、販売価格は 40.0 で 0.1 ポイント減と前期並の上昇が続き、仕入価格は 66.2 で 5.8 ポイント減と大きく上昇傾向が弱まった。在庫は 8.1 で 10.7 ポイント増と過剰に転じた。来期の見通しについては、販売価格は上昇傾向が大幅に強まり、仕入価格はやや上昇幅が拡大する見込み。在庫は過剰感が若干改善する見込み。

## 資金繰り・借入金・設備投資動向

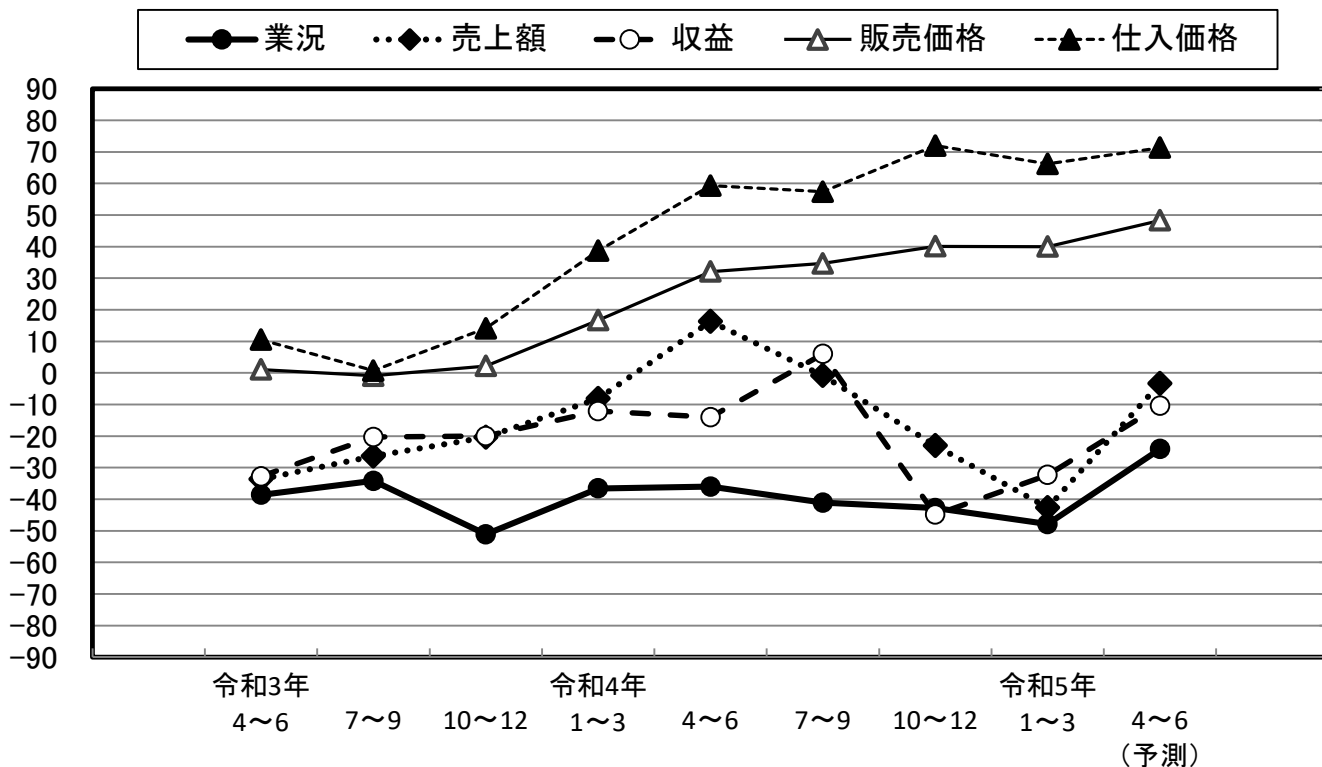
資金繰りは $\Delta 12.6$ で 0.4 ポイント増と前期並の苦しさが続き、借入難易度は 11.1 で 33.3 ポイント増と好転した。借入をした企業は 10.0%と 0.5 ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は 10.0%で 10.0 ポイント増加した。来期の見通しについては、資金繰りは窮屈感がわずかに緩和し、借入をする企業は大きく増加し、設備投資をする企業は幾分増加する見込み。

## 経営上の問題点・重点経営施策

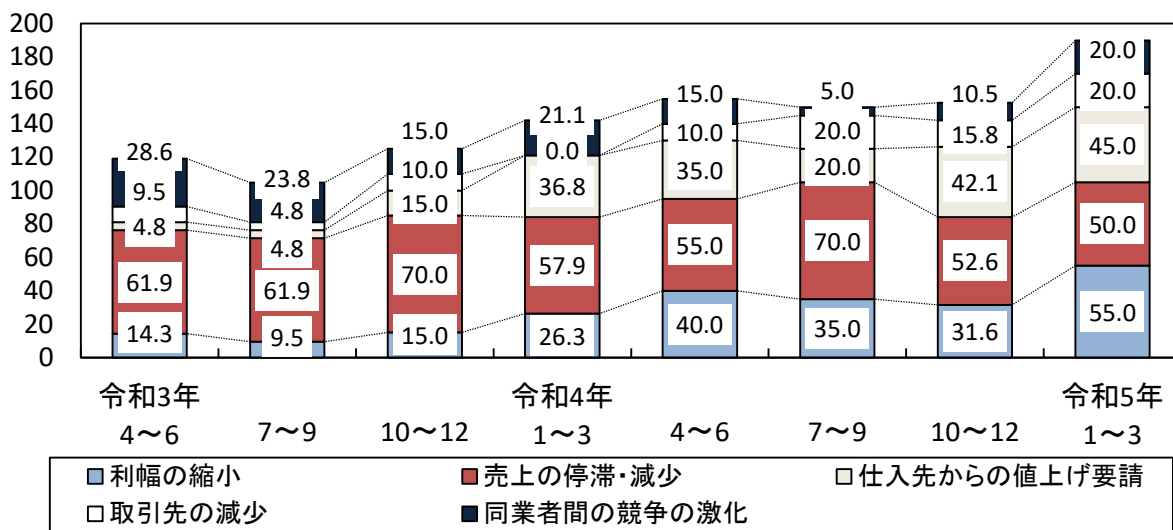
経営上の問題点は、1 位は「利幅の縮小」で 55.0%となった。次いで 2 位は「売上の停滞・減少」で 50.0%、3 位は「仕入先からの値上げ要請」で 45.0%となった。以下、4 位は「取引先の減少」「同業者間の競争の激化」でともに 20.0%、5 位は「人手不足」「取扱商品の陳腐化」でともに 10.0%となった。

重点経営施策は、1 位は「販路を広げる」で 65.0%となった。次いで 2 位は「経費を節減する」で 45.0%、3 位は「不動産の有効活用を図る」で 15.0%となった。以下、4 位は「流通経路の見直しをする」「人材を確保する」「品揃えを充実する」「情報力を強化する」でいずれも 10.0%、5 位は「新しい事業を始める」で 5.0%となった。

業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

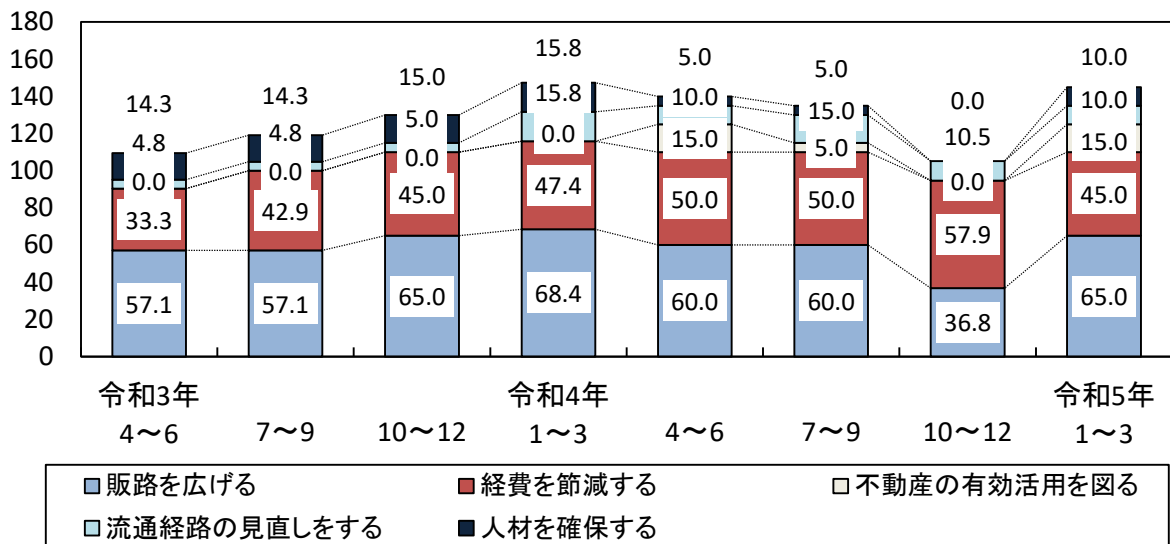


卸売業 経営上の問題点（%）



	令和4年4月～6月期	令和4年7月～9月期	令和4年10月～12月期	令和5年1月～3月期
第1位	売上の停滞・減少 55.0 %	売上の停滞・減少 70.0 %	売上の停滞・減少 52.6 %	利幅の縮小 55.0 %
第2位	利幅の縮小 40.0 %	利幅の縮小 35.0 %	仕入先からの値上げ要請 42.1 %	売上の停滞・減少 50.0 %
第3位	仕入先からの値上げ要請 35.0 %	取引先の減少 20.0 % 仕入先からの値上げ要請 20.0 %	利幅の縮小 31.6 %	仕入先からの値上げ要請 45.0 %
第4位	人手不足 20.0 %	輸入品との競争の激化 10.0 % 人手不足 10.0 %	取引先の減少 15.8 %	取引先の減少 20.0 % 同業者間の競争の激化 20.0 %
第5位	同業者間の競争の激化 15.0 %	同業者間の競争の激化 5.0 % 合理化の不足 5.0 % 小口注文・多頻度配送の増加 5.0 % 取扱商品の陳腐化 5.0 % 販売商品の不足 5.0 % 販売納入先からの値下げ要請 5.0 % 天候の不順 5.0 % 為替レートの変動 5.0 %	為替レートの変動 10.5 % 同業者間の競争の激化 10.5 %	人手不足 10.0 % 取扱商品の陳腐化 10.0 %

### 卸売業 重点経営施策（％）



	令和4年4月～6月期	令和4年7月～9月期	令和4年10月～12月期	令和5年1月～3月期
第1位	販路を広げる 60.0 %	販路を広げる 60.0 %	経費を削減する 57.9 %	販路を広げる 65.0 %
第2位	経費を削減する 50.0 %	経費を削減する 50.0 %	販路を広げる 36.8 %	経費を削減する 45.0 %
第3位	品揃えを充実する 30.0 %	品揃えを充実する 25.0 %	品揃えを充実する 31.6 %	不動産の有効活用を図る 15.0 %
第4位	不動産の有効活用を図る 15.0 %	流通経路の見直しをする 15.0 % 情報力を強化する 15.0 %	流通経路の見直しをする 10.5 % 新しい事業を始める 10.5 %	流通経路の見直しをする 10.0 % 人材を確保する 10.0 % 品揃えを充実する 10.0 % 情報力を強化する 10.0 %
第5位	流通経路の見直しをする 10.0 % 情報力を強化する 10.0 %	新しい事業を始める 5.0 % 機械化を推進する 5.0 % 人材を確保する 5.0 % パート化を図る 5.0 % 教育訓練を強化する 5.0 % 労働条件を改善する 5.0 % 不動産の有効活用を図る 5.0 %	情報力を強化する 5.3 % 提携先を見つける 5.3 % 機械化を推進する 5.3 %	新しい事業を始める 5.0 %

## 小 売 業

### 業況・売上額・収益

小売業の主要指標をみると、業況は $\Delta 9.7$ で前期比 1.6 ポイント増とやや厳しさが和らいだ。売上額は 3.0 で 14.6 ポイント増と増加に転じ、収益は $\Delta 1.6$ で 10.3 ポイント増とかなり減益幅が縮小した。来期の見通しについては、業況は大きく上向き、売上額は今期同様の水準で推移し、収益は増加に転じる見込み。

### 価格・在庫動向

価格動向については、販売価格は 16.1 で 6.4 ポイント減と大幅に上昇傾向が弱まり、仕入価格は 38.7 で 2.2 ポイント減とわずかに上昇幅が縮小した。在庫は $\Delta 1.6$ で 4.0 ポイント減と適正水準となった。来期の見通しについては、販売価格は今期同様の上昇が続き、仕入価格は上昇傾向がかなり弱まり、在庫は過剰に転じる見込み。

### 資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰りは $\Delta 2.2$ で 12.4 ポイント増と大幅に窮屈感が緩和した。借入難易度は 8.0 で 1.3 ポイント増と前期並の容易さとなった。借入をした企業は 21.9%で 4.6 ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資をした企業は 3.2%で 8.9 ポイント減少した。来期の見通しについては、資金繰りは容易となり、借入をする企業はかなり減少し、設備投資をする企業は若干増加する見込み。

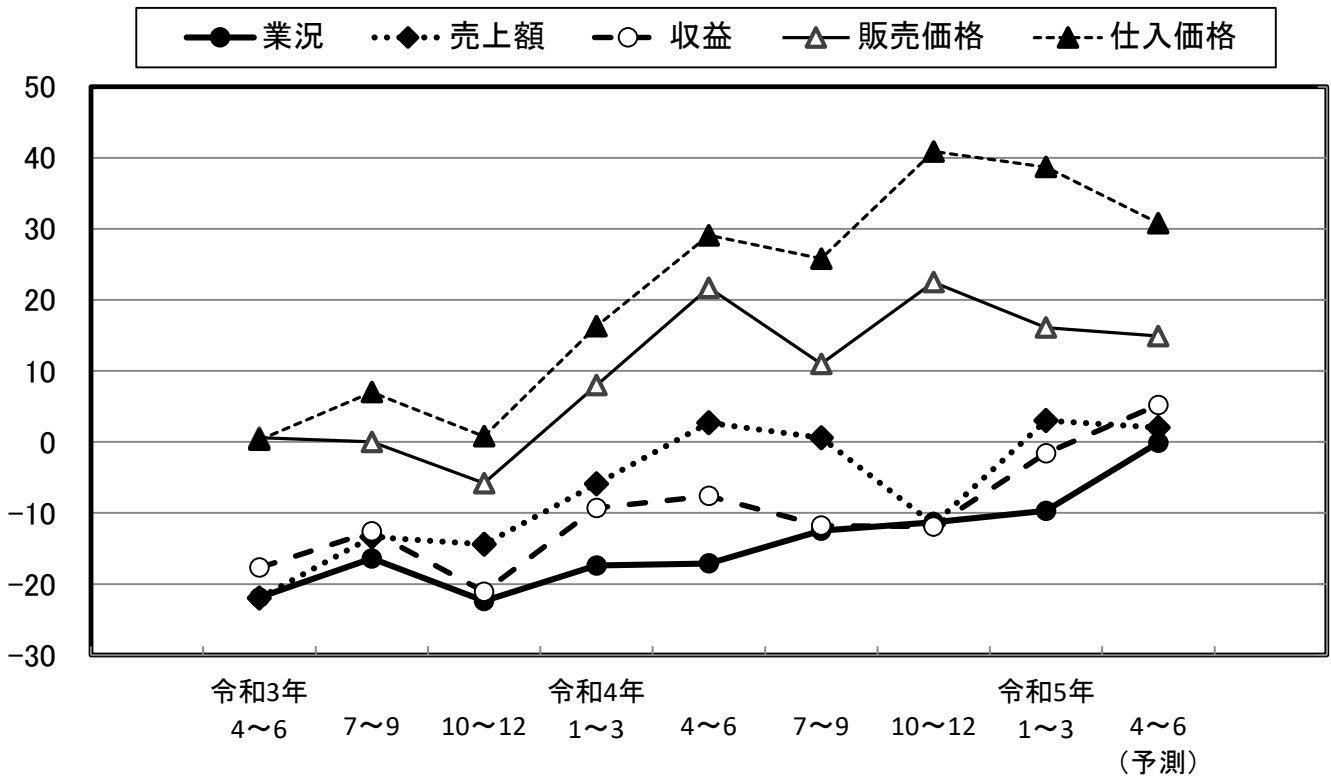
### 経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点については、1位は「商店街の集客力の低下」「仕入先からの値上げ要請」「売上の停滞・減少」でいずれも 25.0%となった。次いで2位は「大型店との競争の激化」「同業者間の競争の激化」でともに 18.8%、3位は「利幅の縮小」で 15.6%となった。以下、4位は「人手不足」「取引先の減少」「商圈人口の減少」でいずれも 12.5%、5位は「店舗の狭小・老朽化」で 9.4%となった。

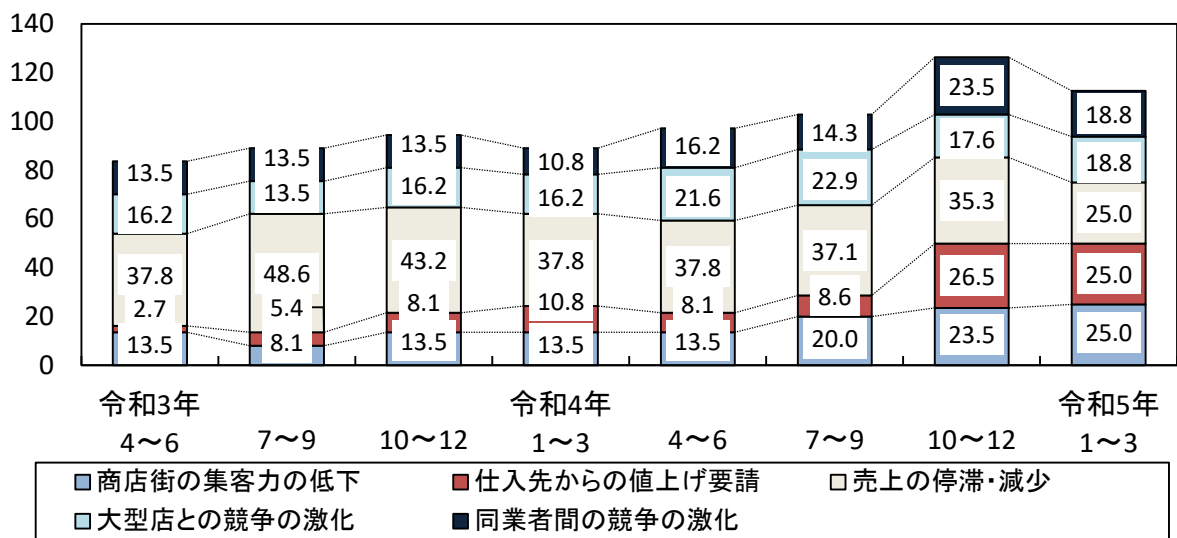
重点経営施策では、1位は「経費を節減する」で 53.1%となった。次いで2位は「売れ筋商品を取り扱う」で 34.4%、3位は「品揃えを改善する」で 25.0%となった。以下、4位は「宣伝・広告を強化する」で 21.9%、5位は「商店街事業を活性化させる」で 15.6%となった。



業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

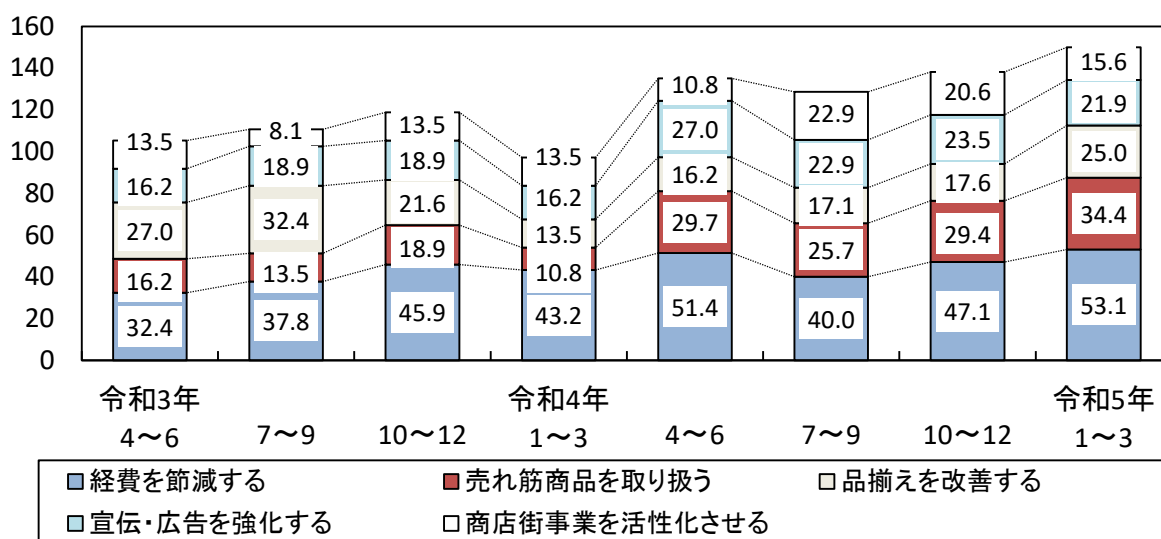


小売業 経営上の問題点 (%)



	令和4年4月～6月期	令和4年7月～9月期	令和4年10月～12月期	令和5年1月～3月期
第1位	売上の停滞・減少 37.8 %	売上の停滞・減少 37.1 %	売上の停滞・減少 35.3 %	商店街の集客力の低下 25.0 % 仕入先からの値上げ要請 25.0 % 売上の停滞・減少 25.0 %
第2位	大型店との競争の激化 21.6 %	大型店との競争の激化 22.9 %	仕入先からの値上げ要請 26.5 %	大型店との競争の激化 18.8 % 同業者間の競争の激化 18.8 %
第3位	同業者間の競争の激化 16.2 %	商店街の集客力の低下 20.0 %	商店街の集客力の低下 23.5 % 同業者間の競争の激化 23.5 %	利幅の縮小 15.6 %
第4位	店舗の狭小・老朽化 13.5 % 商店街の集客力の低下 13.5 %	同業者間の競争の激化 14.3 %	大型店との競争の激化 17.6 %	人手不足 12.5 % 取引先の減少 12.5 % 商圏人口の減少 12.5 %
第5位	仕入先からの値上げ要請 8.1 %	利幅の縮小 11.4 %	利幅の縮小 14.7 % 取引先の減少 14.7 %	店舗の狭小・老朽化 9.4 %

### 小 売 業 重 点 経 営 施 策 ( % )



	令和4年4月～6月期	令和4年7月～9月期	令和4年10月～12月期	令和5年1月～3月期
第1位	経費を節減する 51.4 %	経費を節減する 40.0 %	経費を節減する 47.1 %	経費を節減する 53.1 %
第2位	売れ筋商品を取り扱う 29.7 %	売れ筋商品を取り扱う 25.7 %	売れ筋商品を取り扱う 29.4 %	売れ筋商品を取り扱う 34.4 %
第3位	宣伝・広告を強化する 27.0 %	商店街事業を活性化させる 22.9 % 宣伝・広告を強化する 22.9 %	宣伝・広告を強化する 23.5 %	品揃えを改善する 25.0 %
第4位	品揃えを改善する 16.2 %	品揃えを改善する 17.1 %	商店街事業を活性化させる 20.6 %	宣伝・広告を強化する 21.9 %
第5位	商店街事業を活性化させる 10.8 %	仕入先を開拓・選別する 8.6 % 人材を確保する 8.6 %	品揃えを改善する 17.6 %	商店街事業を活性化させる 15.6 %

## サービス業

### 業況・売上額・収益

サービス業の主要指標をみると、業況は $\Delta 28.1$ で前期比13.1ポイント増と大幅に持ち直した。売上額は $\Delta 15.0$ で4.8ポイント増、収益は $\Delta 19.8$ で4.2ポイント増とともにわずかに減少・減益幅が縮小した。来期の見通しについては、業況は厳しさが多少和らぎ、売上額、収益はともに減少・減益幅が大きく縮小する見込み。

### 価格・在庫動向

価格動向については、料金価格は4.7で2.1ポイント減、材料価格は37.3で3.9ポイント減とともに幾分上昇傾向が弱まった。来期の見通しについては、料金価格は若干上昇幅が縮小し、材料価格はかなり落ち着きを見せる見込み。

### 資金繰り・借入金・設備投資動向

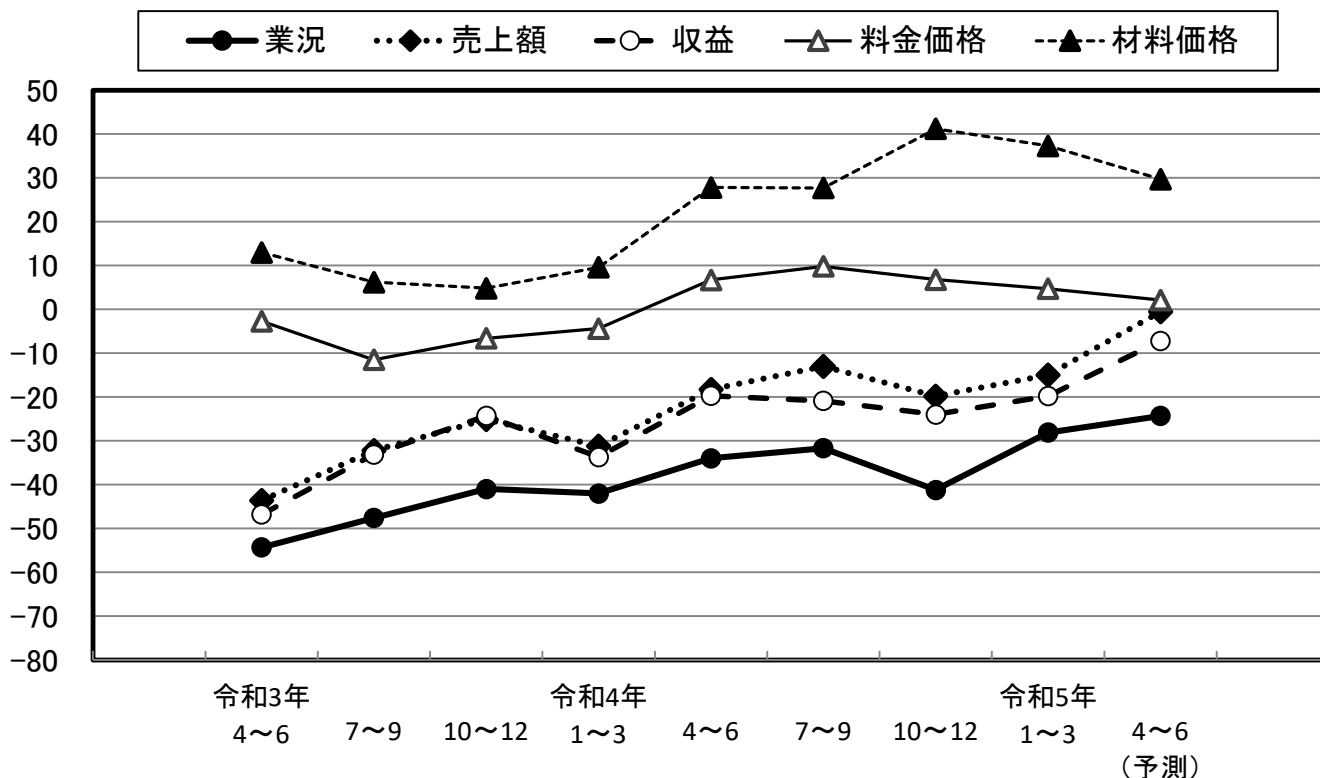
資金繰りは $\Delta 11.3$ で7.5ポイント増と大きく改善し、借入難易度は3.0で8.4ポイント増と好転した。借入をした企業は9.1%と4.2ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は7.0%と6.3ポイント減少した。来期の見通しについては、資金繰りは今期同様の厳しさを推移し、借入をする企業はやや減少し、設備投資を実施する企業はわずかに増加する見通し。

### 経営上の問題点・重点経営施策

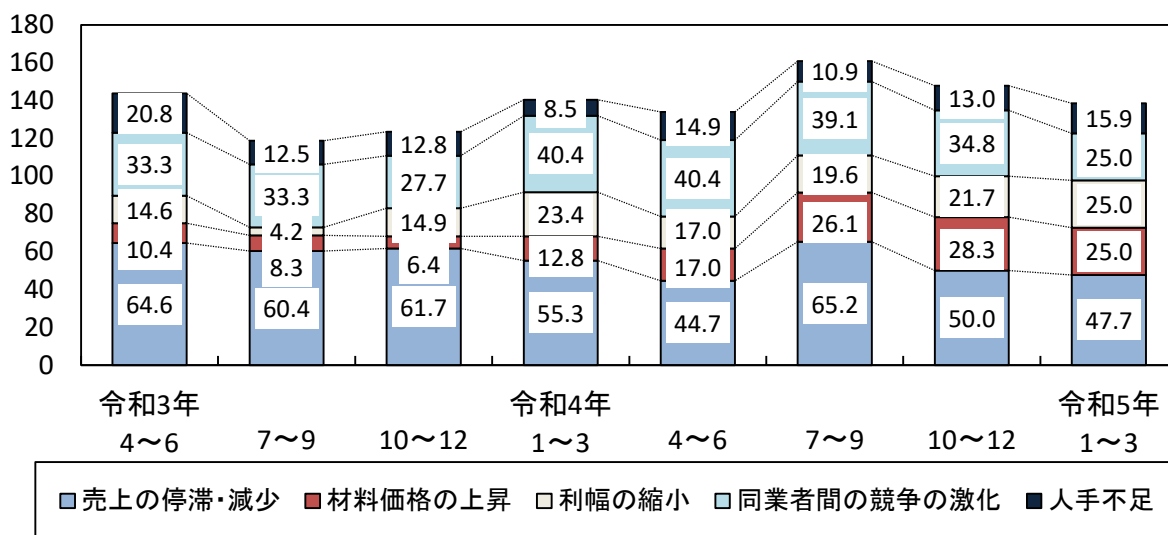
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」で47.7%となった。次いで2位は「材料価格の上昇」「利幅の縮小」「同業者間の競争の激化」でいずれも25.0%、3位は「人手不足」で15.9%となった。以下、4位は「大企業との競争の激化」で9.1%、5位は「人件費の増加」「取引先の減少」「商圏人口の減少」でいずれも6.8%となった。

重点経営施策では、1位は「販路を広げる」で56.8%となった。次いで2位は「経費を節減する」で38.6%、3位は「宣伝・広告を強化する」で20.5%となった。以下、4位は「提携先を見つける」で15.9%、5位は「技術力を強化する」で11.4%となった。

業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

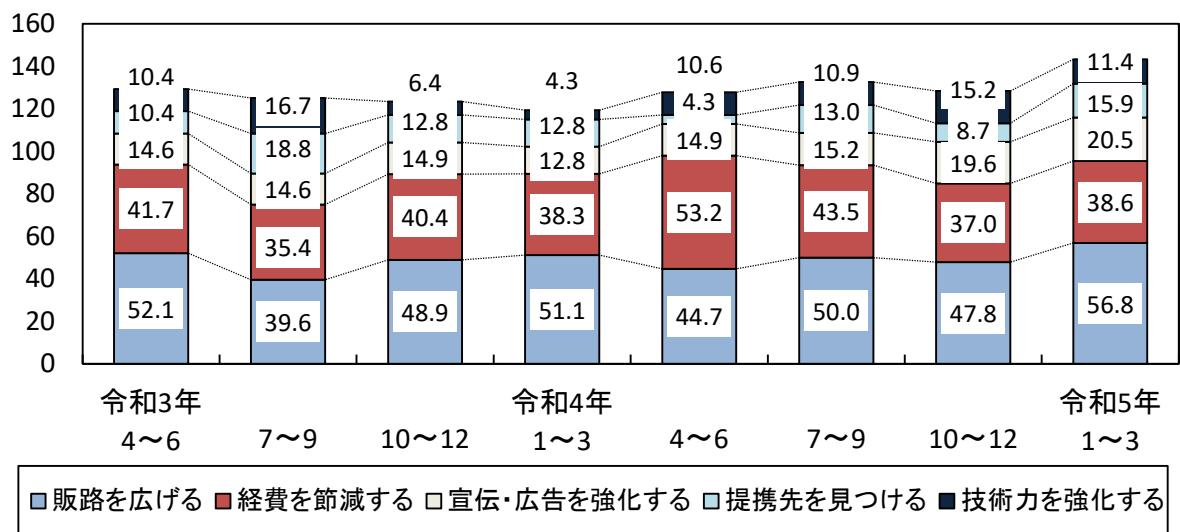


サービス業 経営上の問題点（%）



	令和4年4月～6月期	令和4年7月～9月期	令和4年10月～12月期	令和5年1月～3月期
第1位	売上の停滞・減少 44.7 %	売上の停滞・減少 65.2 %	売上の停滞・減少 50.0 %	売上の停滞・減少 47.7 %
第2位	同業者間の競争の激化 40.4 %	同業者間の競争の激化 39.1 %	同業者間の競争の激化 34.8 %	材料価格の上昇 25.0 % 利幅の縮小 25.0 % 同業者間の競争の激化 25.0 %
第3位	材料価格の上昇 17.0 % 利幅の縮小 17.0 %	材料価格の上昇 26.1 %	材料価格の上昇 28.3 %	人手不足 15.9 %
第4位	人手不足 14.9 %	利幅の縮小 19.6 %	利幅の縮小 21.7 %	大企業との競争の激化 9.1 %
第5位	人件費の増加 10.6 %	人件費の増加 13.0 %	人手不足 13.0 %	人件費の増加 6.8 % 取引先の減少 6.8 % 商圏人口の減少 6.8 %

### サービス業 重点経営施策（％）



	令和4年4月～6月期	令和4年7月～9月期	令和4年10月～12月期	令和5年1月～3月期
第1位	経費を節減する 53.2 %	販路を広げる 50.0 %	販路を広げる 47.8 %	販路を広げる 56.8 %
第2位	販路を広げる 44.7 %	経費を節減する 43.5 %	経費を節減する 37.0 %	経費を節減する 38.6 %
第3位	宣伝・広告を強化する 14.9 %	宣伝・広告を強化する 15.2 %	宣伝・広告を強化する 19.6 %	宣伝・広告を強化する 20.5 %
第4位	教育訓練を強化する 10.6 % 人材を確保する 10.6 % 技術力を強化する 10.6 %	教育訓練を強化する 13.0 % 提携先を見つける 13.0 %	教育訓練を強化する 15.2 % 人材を確保する 15.2 % 技術力を強化する 15.2 %	提携先を見つける 15.9 %
第5位	提携先を見つける 4.3 %	技術力を強化する 10.9 %	提携先を見つける 8.7 %	技術力を強化する 11.4 %

## 建設業

### 業況・売上額・収益・受注残・施工高

建設業の主要指標をみると、業況は $\Delta 6.8$ で前期比2.6ポイント増と幾分厳しさが和らいだ。売上額は0.5で10.6ポイント減と大きく増加幅が縮小し、受注残は $\Delta 3.2$ で6.2ポイント減と増加から減少に転じ、施工高は23.3で2.2ポイント増とやや増加幅が拡大し、収益は $\Delta 6.8$ で10.7ポイント増とかなり改善した。来期の見通しについて、業況は今期同様の悪化幅で推移する見込み。売上額は増減なく推移し、受注残は今期同様の減少が続き、施工高は増加幅がわずかに縮小し、収益は減益幅が大幅に拡大する見通し。

### 価格・在庫動向

価格動向については、請負価格は24.1で10.7ポイント減、材料価格は58.7で8.3ポイント減とともに大きく上昇傾向が弱まった。在庫は $\Delta 2.6$ で6.1ポイント増とかなり不足感が改善した。来期の見通しについては、請負価格、材料価格はともに上昇傾向が多少弱まり、在庫は適正水準となる見込み。

### 資金繰り・借入金・設備投資動向

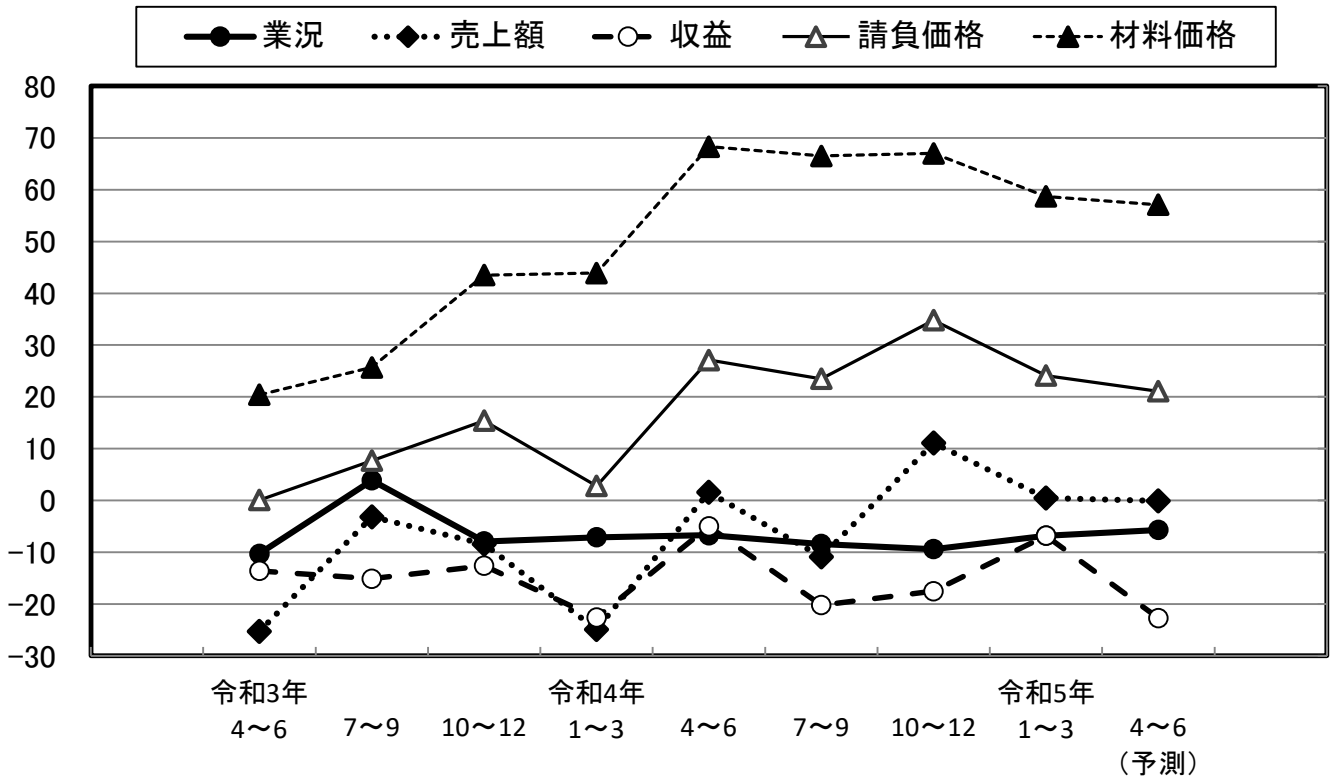
資金繰りは $\Delta 3.0$ で11.0ポイント減と厳しい状況に転じ、借入難易度は $\Delta 8.0$ で0.9ポイント減と前期並の厳しさとなった。借入をした企業は22.6%と9.7ポイント増加した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は12.9%と3.2ポイント増加した。来期の見通しについては、資金繰りは窮屈感がやや強まり、借入をする企業は大きく減少し、設備投資を実施する企業は今期同様で推移する見通し。

### 経営上の問題点・重点経営施策

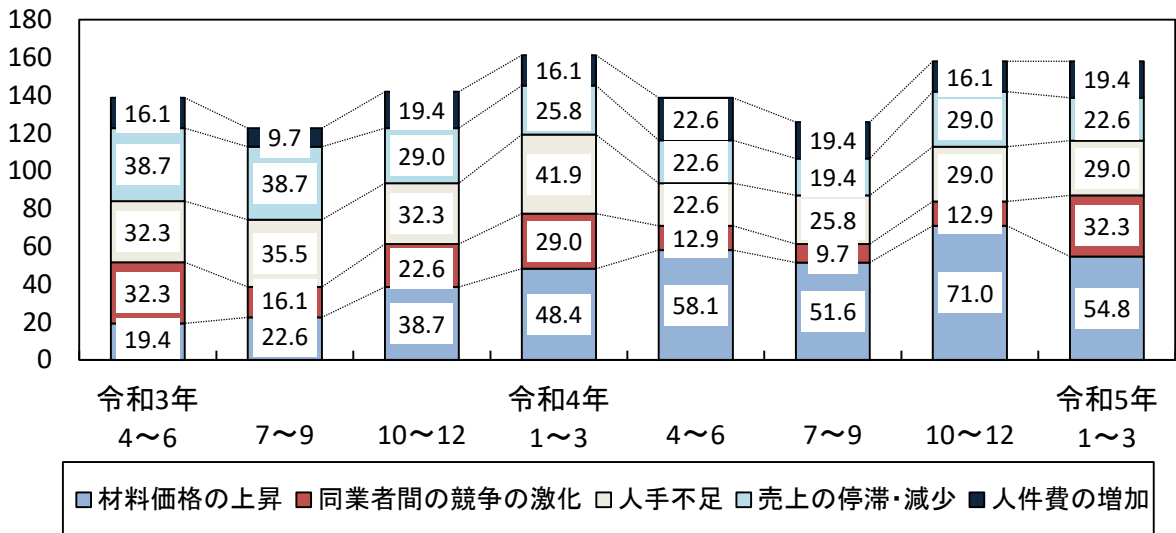
経営上の問題点は、1位は「材料価格の上昇」で54.8%となった。次いで2位は「同業者間の競争の激化」で32.3%、3位は「人手不足」で29.0%となった。以下、4位は「売上の停滞・減少」で22.6%、5位は「人件費の増加」で19.4%と続いた。

重点経営施策は、1位は「経費を節減する」で45.2%となった。次いで2位は「販路を広げる」で38.7%、3位は「人材を確保する」で35.5%となった。以下、4位は「技術力を高める」で22.6%、5位は「情報を強化する」で16.1%と続いた。

業況と売上額、収益、請負価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

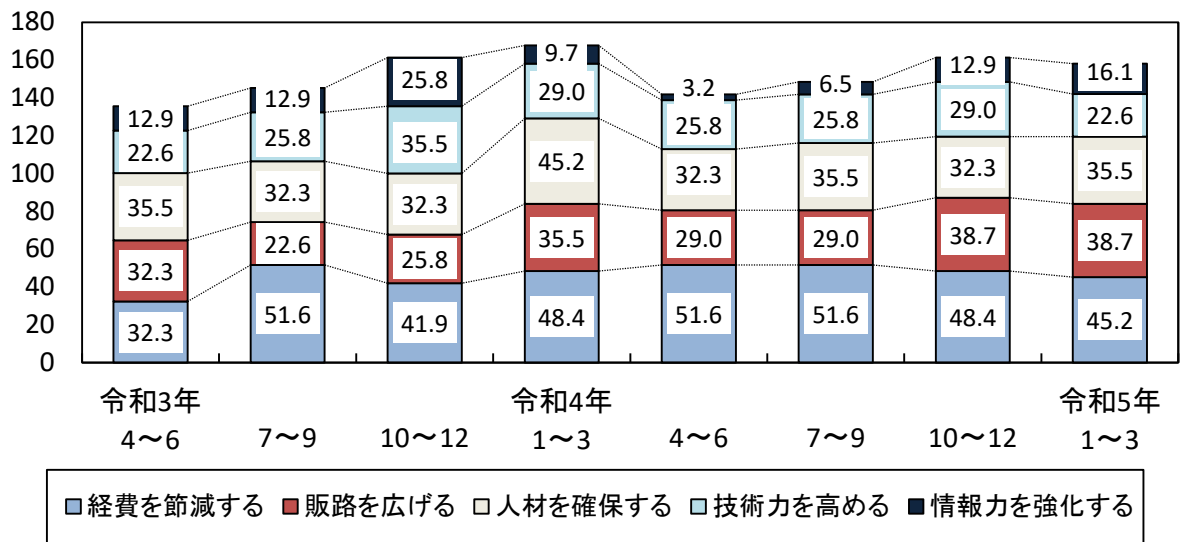


建設業 経営上の問題点 (%)



	令和4年4月～6月期	令和4年7月～9月期	令和4年10月～12月期	令和5年1月～3月期
第1位	材料価格の上昇 58.1 %	材料価格の上昇 51.6 %	材料価格の上昇 71.0 %	材料価格の上昇 54.8 %
第2位	人件費の増加 22.6 %	人手不足 25.8 %	人手不足 29.0 %	同業者間の競争の激化 32.3 %
	人手不足 22.6 %		売上の停滞・減少 29.0 %	
	売上の停滞・減少 22.6 %			
第3位	利幅の縮小 19.4 %	利幅の縮小 22.6 %	利幅の縮小 19.4 %	人手不足 29.0 %
第4位	同業者間の競争の激化 12.9 %	人件費の増加 19.4 %	人件費の増加 16.1 %	売上の停滞・減少 22.6 %
		売上の停滞・減少 19.4 %		
第5位	大手企業との競争の激化 6.5 %	大手企業との競争の激化 12.9 %	同業者間の競争の激化 12.9 %	人件費の増加 19.4 %
	下請の確保難 6.5 %			

### 建設業 重点経営施策（％）



	令和4年4月～6月期	令和4年7月～9月期	令和4年10月～12月期	令和5年1月～3月期
第1位	経費を節減する 51.6 %	経費を節減する 51.6 %	経費を節減する 48.4 %	経費を節減する 45.2 %
第2位	人材を確保する 32.3 %	人材を確保する 35.5 %	販路を広げる 38.7 %	販路を広げる 38.7 %
第3位	販路を広げる 29.0 %	販路を広げる 29.0 %	人材を確保する 32.3 %	人材を確保する 35.5 %
第4位	技術力を高める 25.8 %	技術力を高める 25.8 %	技術力を高める 29.0 %	技術力を高める 22.6 %
第5位	教育訓練を強化する 9.7 %	教育訓練を強化する 9.7 %	情報力を強化する 12.9 %	情報力を強化する 16.1 %